

第62回市民ふれあいトーク 【一緒に考える このまちの地域力】

日時 平成27年8月4日 18:30~20:00

場所 倉敷北公民館

要約版

市長

皆さんこんばんは。夕方大変お忙しいお時間帯に市民ふれあいトークに足を運んでいただき心から感謝申し上げます。この市民ふれあいトークは月に1回ぐらい、市議会の月を除き開催させていただいており、今回で62回目になりました。北公民館の方へお邪魔をしましたのがしばらく前になっているかと思えますけれど、色々公民館の方へ上がらせていただきましたり、またテーマ型としまして、健康のことを健康福祉プラザの方で行ったり、環境のことを環境交流センターで行ったりというような感じで進めておりまして、今地域の課題のことについて、2回目ということでこちらにしばらくぶりに上がらせていただいた次第でございます。

前回参加をしていらっしゃる方もいらっしゃるかと思います。最初に、私が10数分ぐらい、今倉敷市が置かれている状況とか、世界、日本の中で倉敷市の立場とか、お話をさせていただき皆様との間で市政の色々な課題について、特にできればこの地域の課題、地域の魅力をもっと伸ばすとか、町の地域力をもっと伸ばしていくにはどういうふうなところが重要かということなどについてご意見を言っていたり、また自分はこういうところに力を入れて頑張っているということをお話をして教えていただけると大変ありがたいなと思っております。

前回は確かご質問の中に生坂~二日市線の道路がいつできるのかということでご質問をいただきまして、一生懸命頑張っておりましてあと1年ぐらいでできるはずですというようなことを私が申し上げました。確か平成23年に開通いたしましたので、前回お伺いしましたのがその前だったと思います。そして倉敷のみらい公園、駅北の施設の方も本格オープンも確かなっていません。それから前はマスカット球場をもっと活用方法で色々な取り組みをできたらいいなという話をいただきまして、私は星野監督もいらっしゃるので楽天のことを一生懸命頑張りますということを申し上げて、今楽天さんに秋のキャンプとそれから春の試合などで4年連続来ていただいております。つい先日も7月に仙台の方に毎年伺っているんですけど、球団の社長さんと、今監督さんが大久保さんにかわられましたけれども、大久保監督さんにもお会いしまして今年の秋のキャンプのことも願って参りましたので、たぶん大丈夫じゃあないかと思っておりますが、皆さん地元でいらしゃいますので是非ともよろしく願いできればと思っております。

この北公民館の北中学校区、中庄小学校、菅生小学校と倉敷市内の人口が多く、非常に住みやすい地域と市民の皆さん、そういうふう感じられている所だと思っております。ますますそういう地域になっていければと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。

まず日本全国のことから少しお話をしたいと思っております。昨年あたりから地方創生という単語が非常にテレビとか、今は国会の方で色々な法案が議論されておりますが、まち、人、仕事法案とか、地方創生ということではいかにしてこの地方が活性化して、もっと力を元気に出していくことが非常にテレビの方でもマスコミでも新聞でも取り上げられる

ことが多いんじゃないかと思っております。と申しますのが特に昨年の5月に日本の人口が今1億8千万人（正しくは1億2千万人）ぐらいでございますけれども、これから50年ぐらいしましたら人口がこのままだと8千万人ぐらいになるんじゃないかということで、非常に下降傾向をたどっているということを全国の学者の方が言われて、このままじゃあ国が減んでしまっただけじゃないかということで政府の方も地域活性化、子育て政策に力を入れるということになったのがちょうど去年の今頃からだと思っております。それで倉敷市の方も私が市長に就任させていただきまして、特に子育てのところに皆さんと一緒に力を入れてきたわけでございますが、倉敷市の子育て政策が非常にうまくいっているということに国が目を付けていただきまして、どういうことをやったんですかと、そして例えば保育園を非常に増員しましたとか、それから預かり保育とか、3歳児保育をするようにしました、幼稚園でも。また小学校が終わった後の学童保育の受け入れ人数を増やすようにしました。と言うこと等々を国の方で発表してくださいということになりまして、国の地方創生会議のメンバーに去年の9月から参加をさせていただいております。たまにテレビに映ったりしますので、もしかしたら見てくださった方もいらっしゃるかと思うんですが、月に1回くらい官邸の方で会議がありまして、倉敷市の子育て政策の取り組み、また倉敷市のまちづくりの取り組みなどについてお話を申し上げているところでございます。それともう一つ倉敷市が取り組みをしてきております中で、特に美観地区の辺りに倉敷の地域の中で観光客の方が今非常に増えてきております。例えば電線類の地中化をいたしましたことによりまして、これまでは倉敷川の所のお客様がほとんどだったんですが、1本中に入りまして本町通りとか、東町通りの所に多くのお客様が来てくださるようになって、また最近は特に外国人の方も結構来てくださるようになったことがあると思っております。時を同じくして駅の北側の所の倉敷みらい公園、それからアリオと三井アウトレット辺りでございますが、そしてそれを結ぶ商店街でございますけれども、その辺りの所に人が非常に回っていただきやすいような施策をお互いですることによりまして、非常に商店街の方も以前と比べまして約2倍以上の人通りが増えましてということも起こってきていることなど、ここ数年では倉敷市は全国から注目されていることも多くなってきているんじゃないかと思っております。そして一番最近で注目をされましたというか、今非常に注目されておりますのが、実は7月3日に発表になりましたけれど、来年の5月にサミットの教育大臣会合を倉敷市で開催をするということ国の方から発表をいただきまして、今その準備に取り掛かっているところでございます。実は、このサミットのことなんですけど、伊勢志摩で全体の首脳の方が集まる会議があるんですが、全国で合計10カ所で例えばここは教育大臣会合、ここはエネルギー大臣会合、ここは環境大臣会合と、10都市で開催されることになっております。倉敷市としましても手を挙げて、是非この倉敷の教育とそれから文化を核としたまちづくりを見ていただきたいということで文科省の方に色々お願いをしてきました。勿論美観地区のことでもありますとか、岡山県の学力のこともそうですが今一生懸命頑張っていることも言いつつ、それから文科省の方からはとは言っても先進国の中では日本国の学力は良い方だというふうにおっしゃって、日本の中ではまだまだこれから頑張らなければいけないわけですが、諸外国と比べてそんなに見劣りするわけではないので、しっかりそれをやってくればいいですとか、もうひとつ私が言いましたのは、倉敷は昨年当学区におきまして子どもさんの事件がございまして無事に解決したわけでございますけれども、その時の取り組みの話も文科省の方にお話をいたしました。

事件があったわけでございますけれど、地域の皆さんが本当に一生懸命取り組みをして下さり、それから多くの情報が寄せられて、そして子どもさんが無事に保護されることができたんです。ということで非常に倉敷市は学校は学校だけではなくて地域と学校が一緒になって取り組みをしてきている所ですということなど色々お話をいたしまして、先日発表ということで倉敷市で開催されることになりました。日本とアメリカとイギリスとカナダ、それからフランスとドイツとイタリアと、それから今はちょっとロシアが参加してないんですけど、参加されたらロシア、EUとOECDと、世界遺産を決めるユネスコ、この10か11の機関の大臣、それから事務次官とか文部科学省の方が倉敷市に集まられて、色んな会議をされる予定でございます。ここで最初に大変恐縮ですけど、先ほど美観地区の方で外国のお客様が増えているというお話をいたしました。来年のサミットにかけまして、ますますサミットプラス2020年のオリンピックに向けまして外国の方も増えるんじゃないかと思っております。是非地域の皆様におかれましては、散歩の時に外国の方に会われました時に是非にっこり挨拶をですね、決して英語じゃなくても大丈夫でございますので、外国の方はその国に来まして地域の方が言葉が通じなくても、どういふふうに自分のことを思ってくれているのか非常に身近に感じられるみたいですので、もし会われた時には「おはようございます」と、もしできれば「Good Morning」と言っていたらありがたいですが、というようなことなど学校でもこれからサミットのことなどについても学習していく予定でございますが、地域をあげて学習していければと思っております。近々には日本女性会議2015倉敷がございます。今年の10月の9、10、11ということで、全国から男女共同参画のその地域のトップリーダーの方ばかりこの倉敷市に3000人がお集まりになる事になっております。非常に皆さんは地域づくりのことに長けた方、それから意見を持った方でございますので、来てみてすごくよかったです。「あの所はすごく良かった。ここら辺はすごく良かった。」とさせていただきますが、逆にちょっとこういうところが、これまでの都市で例えばちょっと地域が他の所と隔離していて住民の皆さんとあまり会わない地域だったりすると、「この地域はこうだった。」とか、結構全国にその地域のことは発信して下さる方が多いものですので、また特に10月の9、10、11の週末の時には是非色んな挨拶とか、もてなしの気持ちをより一層もってお願いできればと思っております。

さて、中庄小学校また菅生小学校地域でございますけれど、倉敷市の中で多くの人口、また先程人口の話をしましたけれど、倉敷市の人口は今増えております。ほとんどの岡山県内の所は人口がすでに減っております。さっき日本国の人口が今1億2千万人から8千万人ぐらいに減るとお話をいたしました。倉敷市は平成22年から30年しかまだ統計がとれてないんですけど、今の48万人が30年経って47万人ぐらいに、勿論減るんですけど大幅には減らない予定になっております。でも岡山県に人口はその間で同じだけで194万人が160万人ぐらいに減るということで、県内全体は非常に減っていくということになってしまっております。そういうこともあり、実は今岡山県内で連携中枢都市という取り組みをしております。これは何かと言いますと、今全国で61のある程度大きな市、中核市とか政令市とか、特例市、人口20万人以上ぐらいの市が核となり、県では広すぎるので、20万人以上の市ぐらいの大きさの所が中核となって近隣の市町村と一緒に協力し少しでもお互いに工夫して、もしくはお互いの良い所を使って色んな産業を興したりということをしていきたいと思いますという取り組みをしておりますのが、連携中枢都市というも

のでございます。岡山県内では倉敷市と岡山市がこの連携中枢都市に指定をされており、広島県では広島市さんと福山市さんがなっております。福山市、倉敷市、岡山市、東の方では姫路市さんがこれに取り組みをしており、全国の中でも今倉敷は非常に連携がとれているということでお話しをいただいているところでございます。

そして中庄学区、菅生学区、マスカット球場、川崎医科大学がこの地に来ていただきましてもう45年ぐらいだと思います。インターの方も倉敷市一番のインターがあるということで、交通、学習の拠点というふうになっているとっておりますので、今のところ皆さんと一緒に活かしてもっと地域がよくなって行けるようにできればと思っておりますのでよろしくをお願いします。

参加者 A さん

青少年を育てる会の中庄支部の支部長をさせていただいている A です。昨年からの子どもの安全政策誠にありがとうございます。ちょっとバラバラに4点あります。

先程、官公庁、お国の方にはアピールがしっかりできておっしゃいました。私たちのこの愛する倉敷を、倉敷発全国へのアピールをしっかりとさせていただきたいと思えます。何々の倉敷と言ってもらえるようなまちづくりをお願いしたいと思えます。例えば出生率日本一とか、長寿日本一とか、幸福なまち日本一とか、また住みやすいまち日本一とか、そのようなことをメディアで言ってもらえるような宣伝するような方法を考えていただきたいと思えます。僕の頭の中では馬路村のイメージが強い、あそこに負けていると思っておりますので、ぜひお願いしたいと思えます。

それからもう一つがマスカットスタジアム、先ほど言われたとおりでしたが、例えば倉敷音楽祭の屋外コンサートなどを考えていただければと思えました。

それから私のお父さんもそうでしたが、特養を探した場合に300人以上待ち、というようなことで待っているうちに父は亡くなってしまおうというみたいなことがあります。例えば療養型病院を増やしていただくとか、その辺の老人に対しての施設も考えていただきたいと思えました。

それから今木曜の開庁をさせていただいていますが、住民サービスの観点から土曜日、日曜日の市民の相談窓口ができれば、是非していただきたい。休めないです、サラリーマンは。そんな中で住みやすいまち日本一であるとか、住みやすいまち倉敷を是非アピールしていただけるのではないかと思います。子育てから老人の政策まで様々ありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

市長

はい、ありがとうございました。

全部いっぺんにお答えできるか分かりませんが、今言ってくくださったように本当に、私も日本国内、それから世界に倉敷をPRをしていきたいという思いで、勿論市の施策のこともそうですし、それからさっきのサミットのこと、これを実現できれば世界に倉敷のG7倉敷何とか会合ということになるんじゃないかと思っておりますので、それをやりたいなと実は思っていたんですが、実は倉敷市の市民憲章がございます。5項目ございまして、皆さん色々な機会に唱和をしてくださるんじゃないかと思えますけれど、私といたし

ましてはその5番目にあります「教養を高め、世界と通じ、個性ある文化をつくります。」これを市長としては、この機をとらまえてこれを是非実現したいなと思って、これを実現していけば少なくとも1個世界にPRできるんじゃないかと思って今回の誘致を頑張ったというのもあったんですけど、これからもサミットのまちということだけじゃなくて頑張っていきたいというふうに思っております。

倉敷音楽祭をマスカットスタジアムで。ちなみにマスカットは音楽の祭典というか行事は結構あるんですかね。(ほとんどない。)スポーツですよ。音楽祭がどうかわかりませんが、スポーツ以外の取り組みも検討していくというのは非常に重要なことだと思っております。ありがとうございます。

特養を待つ人が多いということ、市の開庁日のことについてご提言をいただきました。この特養のところなんですけれども、先ほど療養病床の話なんかもいただきましたけれども、逆に国が出しておりますのはこれを減らすという国の政策に今なっております。それで倉敷市としても勿論急にそうなるのは困るなと思っております。一方で割り当てで来るというのがありますので、倉敷市としては出生率もそうなんですけど、とにかく皆さんが健康で長生きで健康長寿日本一のまちというのをこれからは目指していくのが大きな重要なことだと思っております。勿論人口が増えるということは子どもさんがたくさん生まれるというのがあるんですけど、施設をつくるのがなかなか難しいのであれば、今の介護とか、医療とか、その前段の検診とか、そういうことにももっと力を入れて皆さんが病気にかかりにくいように、健康で活動してもらえようなまちというように頑張っていきたいと思っております。

そして開庁日でございますけれども、今木曜日が延長いたしております、まだ土日とかの開庁が特に年度末の、年度末、年度始めの転入転出の時には現在となっております。ですので、それをすぐにどうできるというのは何とも今申し上げられないんですが、市のサービスとして市民の皆さんの需要が多い時期に、全庁一斉開庁かどうかわかりませんが、担当部署の所で取り組みをしていくというのは勿論重要なことだと思っておりますので、負担の見直しで色々な行革をするわけですけれども、サービスを削減することばかりじゃなくて、サービスをアップしていくところも併せてやっていきたいと思っておりますので、貴重なご意見いただきましてありがとうございます。

参加者Bさん

市長さんの真剣なお話を聞いて肩が凝りまして、リラックスしてしゃべらしてもらいたいと思います。市長さんの広範囲な指導力と言いますか、日々感じているところですが、我々市民として小さなことから実行していこうじゃあないかということで、毎日世間は夏休みに入っています。子どもたちを集めて毎日ラジオ体操をするんですけど、下は3歳から上は中学2年生まで、それに親御さん、兄弟、じいちゃん、ばあちゃんが付いて来ますんで大体40から50人くらい夏休みに入って来ているんですけど、子どもたちは真剣です。さすがに3歳の子供はお父さんもお母さんも眠たそうな顔をしとんですけど、話しかけるとパッチリ目を開けてすごく真剣なんです。それで「済んだらハンコついてくれるんじゃないかなあ。」と言うから「勿論」。男性用と女性用と別れているんです。男の子は男の子用のハンコについて、女の子は女の子用と、二通り用意しとんですけど。

今度話が違うんですけど、倉敷の水島の福田公園でラジオ体操、これは倉敷市と教育委

員会と両方絡んでいるんですか。

市長

これは確か以前市民ふれあいトークでラジオ体操をもっと普及したらというのを聞きまして、それでNHKの方に働きかけまして、全国の巡回のラジオ体操が多いんです。何千人くらいの参加の分を福田公園に8月18日の火曜日の朝6時から誘致をいたしてきまして、これはまだ参加申込大丈夫だと思いますので。

参加者Bさん

これは早速朝持って行って掲示板に貼って子供たちに見てもらおうと思います。出席できる人とできない人がいるんで、できない人は今の場所で私のハンコで我慢してもらおう。私は本当は行きたいんですけど、行けませんね。私が行くとハンコをつくおじさんがいなくなるんで、ちょっと私は行けそうにないんで、市長さんは。(勿論行きます。)

できれば行きたいんですけど、残念。裏側を見たら正しいラジオ体操を学ぼうというのがあります。これは子供たちに言ったんですけど、ラジオ体操を知らない子供がたくさんいます。運動会の時に1年に1ぺんしかしないから覚えてない。40日あるんで毎日来てるんで必ずマスターしてくれと言っています。

小さなことですけどきちんと挨拶ができるような「おはようございます。さようなら。」とね。「またあすも元気に来てくれよ。」ということで、それで年寄りと子供たちのふれあいですかね、市民ふれあいトークのなんかひとつの・・・市長のような立派な考え方はできないんですけど、小さなことを実行していきたいと思いますので。

市長

ありがとうございました。ラジオ体操のことについては先ほどお話いただきましたけれども、市民の皆さんが健康で長生きしていただけるという大きな役割を果たすと思います。市議会でもやはり質問が出ました。市としても推進をしていきたいと思います。ありがとうございました。

参加者Cさん

イトーピア自治会のCです。先日中庄祭においていただきましてありがとうございました。昨年の9月ですけれどもイトーピア自治会の防災訓練にヘリコプターで上空から視察をいただきました。何かと中庄地区に目を配っていただきまして、この場を借りてお礼を申し上げます。

質問なんですけど、今倉敷全体の力強い市長さんのお話とか、それはそれとして・・・、そういうことは必要なんでぜひ進めていただきたいということなんですけど、ちょっと私は地域の捉え方を、先ほどありましたけれども小学校区、小学校区というのをいわゆるコミュニティ協議会の一般的な単位なんですけど、それを地域ととらえて質問させていただきたいと思います。当地は中庄小学校区(私がいる所は)になりますが、7000世帯で約17000人弱でこれは倉敷市、ご存知かもわかりませんが倉敷市の中で世帯数が一番、人口は2番目になるんですね。それぐらいの規模なんですけど、そして隣接して早島町があります。早島町は小学校が1校ですので、言い換えるとあそこは早島小学校区ということ

になります。実はイトーピア自治会は450世帯の規模なんですけど、その約1割は早島町の住人。つまり我々のコミュニティというのは早島と倉敷にまたがって活動しているというようなことです。その結果早島小学校区と中庄小学校区をどうしても比較してしまいます。早島小学校区と中庄小学校区は地理的環境であるとか、面積であるとか非常に似ております。それから人口も比較的近いということになります。

前置きが長くなりましたけれども、地域の色々な課題の中で、ここでの地域の絆につながる自主防災について質問いたしたいと思います。倉敷市の2014年の自主防災組織組織率は51%、全国の80%に比べると極端に低いという結果になっています。当地区の中庄小学校区はどうかというと18%です。3年前に学区内の倉敷スポーツ公園、マスカットのあそこで総合防災訓練があって、市長も陣頭指揮をとられてましたけれども、住民も参加しました。しかし組織率は全く上がっていません。一方隣接の早島小学校区は組織率は91%です。自主防災組織は本来地域の自発的な活動の中から育まれるという側面もありますが、隣接学区で極端な差が出ておるということを見ますと、行政としても役割が必要だと感じております。市長は自主防災組織の育成や結成促進を施策の一つの上げておられます。具体的にはどのようなことをされようとしているのか、お尋ねしたいということによろしく願います。

市長

ありがとうございました。防災、安全安心のまちづくりにつきましては、市民の皆様が一番の要望が高いところだと思いますし、それから例えば当学区では昨年の事件以降、防犯カメラの設置につきましてもいち早くご要望をいただきまして、市としては県と相談いたしまして、勿論優先的に配置をさせていただいたりということも行ってきたわけですが、今言ってくださったように自主防災組織の組織率も市全体としてもまだまだ低うございます。これは元々のところ言えば瀬戸内海地方が災害が少ないということで、皆さんがなかなか関心が高まらないということもあったわけですが、そうは言ってはられないような状況にはなってきているとは思っております。市の組織率が50%をやっと昨年超えたところがございますけれども、市としては、防災の自主防災組織の立ち上げをしてくださる地域、勿論多くの所は町内会とか、それから大きな範囲で言えば例えばコミュニティとか、色々な最初の立ち上げのところでも市がこの組織ごとに立ち上げてくださいますということをしなかったわけですので、例えば市によっては100%、なぜならば全コミュニティ協議会が入っているので全員入っているという所もあるんです。でも倉敷市の場合は本当に所帯単位で、この町内会が結成して下さったらその世帯が、それからこっちのコミュニティが入って下さったらその分ということで積み上げにしていますので、非常に低く出るというのもあるんですが、勿論パーセントなども一つありまして、それともう一つがいかにして人材を養成と言いますか、引っ張ってくださっている人が出てくるかということにも重要なことがあるかとも思っております。実は市の方で一昨年からですかね、防災士の育成講座という養成講座を始めまして、1年間に大体50人くらい今リーダーとしてくださっている方、そして今後リーダーとしてやっていこうという方が受けてくださって地域でそれを立ち上げていただいて、それがうまくいったら他の自治会の方にも、お互いに相互に発表して良いところを教えてもらってということによってやっていくというのを一つやっておりますし、またその組織の立ち上げの時には資材の配布、限度もあるんですけ

どやっております。それで色々な形があるかと思っております。防災士が育成された所、もしくは地域でも消防団の皆さんが先頭を切ってやってもらって、市の避難所だけではそこに行くまでに危ない所があるから、自主的な地域の避難所を設けましょうということをしてくださったところもある。色々なことを通じてやっていくことが非常に重要なことではないかと私は思っております。ただパーセントがまだまだ市全体として低いということを懸念しております。全般としてはこういう考えを持っています。

参加者Cさん

お聞きしたかったのは、自主防が立ち上がらない、なぜ立ち上がらないというようなその地区の困っているようなことを行政の方が自ら確認するようなことだとか、そういったことに行政が手を差し伸べるとか、そういうようなことはお考えではないでしょうか。

市長

その第一歩として市の方が、必ず強制的に作ってくださいということではなくて、まず防災に関心を持ってください。それに当たっては先ほどお話にもありましたけれども、土日でもどこでも防災出前講座に行きますよということから、いつもお話を始めるようにしています。大体一年間に100件以上ぐらい防災の方が出前講座に行きまして、それで自治会のお話の中で防災出前講座を1回させてもらって、それで自治会で皆で考えて、じゃあ作っていかうとか、もしくはもっと広い単位で作ろうかというふうに広がっていくことが多いですので、市としての最初のとっかかりは防災出前講座であるとか、もしくは公民館とかの講座で防災の事を先生を呼んできてお話をいただいたりということもありますので、現状では一律小学校区ごとに全員で作ってくださいというふうには今は市の方ではしていないんです。ただ、勿論だからと言って自主防災組織が増えていくべきだと私は思っているんですけども、一律こんなやり方だというのはしていないのが状況です。

参加者Dさん

番田地区のDと申します。先日は姫路の防災の視察で行ってきたんですけど、避難場所、避難道路が色々なあれが地区地区にありまして、倉敷ではどうなっているのかなあと思って。町内はそういう立ち上げはされていないんですけど、防災訓練をする時に消火栓があるんですよ、マンホールが。その丸いのが特殊な工具じゃないと開けられないんですね。うちにはホースがちゃんと置いてあるので、水は出せないんですけど、緊急の場合は消防が直ぐ来てくれる。多分来ないでしょうね。あっちこっち災害があった場合には、地震等でね。そういう時に町内でできるように、すぐ開けられるように工具をどういうふうにしてか許可してもらえることはできないんでしょうか。

市長

はい、分かりました。消防局じゃないんで詳しく答えられるかどうか分かりませんが、地域の避難所は基本的に地域の小学校を中心といたしました部分、それから地域によっては中学校の所もございます。洪水とか津波とかによって少し避難所が違ったりするんですけど、そういうのをおいてますのと、さっきもちょっとお話をしましたが地域によってどうしてもそこまで行く所が危ない個所がある時には届出避難所として、地域の皆さんが運

営して下さる届出避難所を設けることもできることとなっております。市と相談をいたしまして。それともう一つ民間のビルや学校、ここで言いますと川大さんのグラウンドがいざという時の大きな広域避難場所として貸していただけるような協定を市と結びましたので、そういう場所とか、それから水島は結構低い所が多いので避難ビルということで協力をしてもらって指定をするということなんかもしております。それで消火栓は勝手に開けるのはなかなか難しいかなと思っておりますが、地域で避難訓練とか、防災訓練をしてくださる時に例えば消防局に相談していただければ、その観点で一緒にさせていただくということができるかとは思いますが、そういうことがある時にはご相談いただければと思います。

参加者 E さん

倉敷市西坂から来ました E と申します。地域活動は自然保護監視員と、今岡山後楽園でボランティアガイドをやっております。今日はこのテーマにふさわしいかどうかわかりませんが、環境最先端都市倉敷という形で大きな看板が架かっているんですけど、更によくするために県外者に説明して、何が環境最先端都市かというと私自身もよく分からないんです。それで今私が気になっているのは、私も 8 年間環境衛生協議会に所属していて、まだ言い足らなかつたり、できなかつたりすることもあるんですけども、用水路にポイ捨てゴミや水の停滞というような問題があって、決して県外者に自慢ができるほどきれいなわけじゃないという見方、考え方があると思うんですけど、その辺が何とかならないんだろうかと。私なりの対策としては冬場ほとんど水が流れないと、これはやっぱり色んな人に聞きますと、最低限の流量の水を流すと水が腐ることはないという人もおられて、その辺は取水権の問題もあるかと思うんですけど見直しが出来ないんだろうか。また県外者が来られる 3 月のツーデーマーチの沿線を用水路、農水路、色々倉敷市内全体を見回す時にやっぱりゴミが てない、ポイ捨てゴミがあるというのは、やっぱり環境最先端都市にはふさわしくない。だからこれを目指して例えば環境衛生協議会を使うとか、動員するとか、農業土木委員とそれを中心とした清掃組合があると聞いています。だからそういうようなところをうまく活用して、自然によく清掃するような施策がないんだろうかなと、ちょっと話が出ましたんですけども昔の水島サロン、環境交流スクエアに何回か行って聞きましたんですけど、小学校その他の活動がまだ十分余裕があるんだけれどもあんまり活用がされていないと言われます。それは教育にうまく組み込んで小さいうちから環境学習というんですか、その辺をやってもらえないかなというふうな問題ですね。

それからもう一つ、ちょっと古いイメージになっていて、駅に行きますとマイ箸運動、マイバッグ運動というような垂れ幕が何年も下がっているんですが、本当にマイ箸運動は今にふさわしいかどうか。具体例は市役所の食堂はマイ箸運動の影響がもしれませんが、再生箸、器と同じような考え方に今は大きく世の中は変わっているんですね。それが本当に良いのだろうかということと、それからマイバッグ運動、毎月 10 日はマイバッグなんて女性の人にとってみたら、習慣性にならない限りは、10 日だから今日は持って行く、それ以外は持って行かない、これはちょっとおかしい話なんで、これは県に働きかけて県条例である程度有料化というようなことをやっていただければと思います。

市長

はい、ありがとうございました。用水路、水路のお話をいただきました。水路につきましては地域の土木さんをはじめ水路の水の管理をしてくださる皆さんが本当に一生懸命頑張ってくださいましているわけですが、心無い方がごみを捨てるということで、本当に市としましても地域で一緒になって掃除をして下さったりという活動を本当にありがたいと思っているわけですが、やはり言われたように環境最先端都市、おもてなしという意味でもきれいなまち、用水路なんかも勿論そうじゃないかと思っております。ですので全部が全部、皆でパツときれいにできるかという、なかなか実際のところ難しい所もありますので、本当に呼びかけていく、それからきれいになった所にはむしろごみは捨てられない場合が多いと思っておりますので、そういう所に力を入れたいなと思っております。

それから先ほどの水路のことで、防災との関係があるんですけども、倉敷市の水路の管理は地域の皆さんが大変によく災害の時に一生懸命やってくださいまして、今回の台風11号の時にも、実は平成23年の時と大きく違う活動をいたしました。水路の関係の方はご存知かもしれませんが、実は23年の時にはなかなか児島湖から水が抜けなかったもんですので、上の方に水どんどん上流から来たのが逆流しまして、色んな所が浸水してしまったということがございましたので、その後市で色んな解析をしまして、それで今回の時には2日前から酒津の取水を止めまして2日かけて児島湖の堤防の方から早めに水を抜いて、用水路の水もそうですし田んぼの水もほとんどの皆さんがご協力をいただきまして、勿論台風が過ぎたらすぐ開けますということでお話をして、ご協力をいただきまして台風の時に見て下さったらほとんどの用水が水がぎりぎり底ぐらいだったんじゃないかと思っております。今回用水路と田んぼが雨が降った時の貯水機能をかなり果たしたということがありまして、倉敷地区をはじめとする所でほとんど浸水被害がなくて、ほとんどそういう状況になったかと思っておりますが、今後ともしっかり頑張らないといけないと思っております。まだまだ地域によってうまく市の方の分析と地元の状況とマッチしていなかった所もございますので、毎回改良と言いますか、前に進んで一つでも浸水被害がなくなるように、用水を管理、市と水利の関係の方とやらせていただければと思っております。

それから環境交流スクエアの方はもっと活用が進みますように、特に小学生とかの見学が増えるようにしっかり頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

参加者Fさん

イトーピア団地のFです。前々回でしたか、唐琴でもちょっと出席させていただいて、あの時はいろいろとありがとうございました。今回は、市営住宅の事についてお聞きしたいんですけども、ちょうどここから西へ2～300m行ったところに市営団地があるんですが、見てたらここ3～4年正直言ってほとんど空き家じゃないかなという風に見えるんです。いろいろ聞けば、まだ5所帯くらいが中におるということで、なかなか前に進まないんだということなんですけれども、不審者が入ったりあるいは素行のあまりよろしくない青少年が入ったりというような事もあるんじゃないかなと、そういう場合はまた火事も起こるんじゃないかなと思うんですけども、今ですね、市の市営住宅の数がどのくらいあるのか、また空き家がどのくらいあるのか、今後まだまだ新しく作っていただくの必要性があるのかということをお聞きしたいと思っております。

それとですね、ちょっと前の広報で市の公共の建物というのが2600棟くらいあるとこのを見たんですけども(注 4, 800が正しい)、そういうものも含めて、倉敷市

というのはいわゆる貸借対照表といいますか、バランスシートは作成されているのでしょうか。もしあったらその話を聞かせていただきたいと思うし、もしなければその辺の作成をどういう風に考えているのか、そして30年、50年先にこのバランスシートの内容を見ながら色々なことを考えていかないといかんのじゃないかと思うんですがいかがお考えでしょうか。よろしくをお願いします。

市長

はい、ありがとうございます。ちょっと数のところが正確に言えなかったらいけないので、まずは中庄の市営住宅の現状についてお話を申し上げたいんですが、非常に地元の方皆さんにご心配をいただきまして、今実は、市の公営の住宅の建て替え計画という物を作っております、古くなったものを建て替える、またその建て替えの戸数につきましても、今後のその地域の人口とか、市全体の人口、それから全体の住宅の数の中で中庄の市営住宅はこのくらいを建て替えましょうということで、今計画をしております。たしかですね、300戸ぐらいだったと思いますが、もし違ってたらすいません。また違ってたら後程申しあげます。それで、今お話をいただいたものは、その建て替えに向けてですね、その退出のお願いをしているところでございます。市といたしましてはですね、ここ数年以内の間で、地域のところを含めました中庄団地の古くなっているところの建て替えの手順を進めて、建て替え工事が進んでいくというようなことを、すいません、急にぱっと持ってきてなくて申し訳ないんですけども、そういう風に考えておまして、今ご退出のお願いをしている状況でございます。で、やっぱり今言っていたように早くしないと空き家ばかりになって、危ないところがあると思っておりますので、なるべく早く進むようにしっかりやりたいと思います。

それから公共施設の数とか建物の今後の見通しですよ。バランスシートは一応作りました。それで、ここ3年くらいかけて、昨年度までに市の施設全体の、さっき言われました分と、それからそれぞれの建物が建築から何十年経っていて、それが今改修すればいくらかかって何年持ちますとか、もしくはこのまま放っておくと何年まで持ちますけどあとは建て替えないといけませんとか作り出したものを、実はひとつひとつの建物について市の技術職の職員が検分をしまして、ひとつひとつのチェックシートとそれからそれに基づいて市全体として今後どのように施設をしていくのかという事について議論をはじめたところです。ひとつひとつの建物の分につきましてはもう作りまして、なかなかPRができていないんですけども、公表はしています。そういう状況までになっています。しっかりやりたいと思います。

参加者Fさん

ちょっとそれに関連して、先ほどの倉敷市の人口の問題、まだ5年ぐらいは多少伸びるだろうと、(市長：はいまだあと5年ぐらいは増えるだろうと) その後は減っていくんじゃないかと。(市長：微増くらいですね)で、ある資料によると2040年の段階ではという数字を見て、特に地区別の数字を見ていましたら、児島地区の減り方が際立っているなあという風に思うんですけども。市全体としたらそんなには減らないんでしょうけども、地域のバラツキについてはどのように考えて今後やられるつもりでしょうか。

市長

はい、もちろん一番人口が減らない地区というのは倉敷地区だということですし、人口が減るところは児島、玉島は非常に減る率が高というのは事実だと思います。もちろん市としてはそのままというわけではないですけども、例えば幼稚園、保育園などの配置をするときにも、認定こども園等の子どもさんをそこに通わせたいと思ってもらえるような園をなるべく、児島とか玉島の方にも例えば優先して作ったりとか、それだけではなくてもちろん産業も起こす、それから児島の繊維産業を、今ジーンズとかで非常にPRになっていますけれども、そういったものを世界に出して行って、仕事が児島に来るようにするとかですね、そういったことをひとつひとつやっつけていかなければいけないと思っております。がんばります、はい。

参加者Gさん

私はイトーピアからまいりましたGでございます。市長におかれましては本当にお忙しい中、中庄に来ていただいて、一緒に考えるこの街の地域を題材にしたふれあいトークの場を作っていただきまして本当にありがとうございます。実は先般4月27日に唐琴公民館において本日と同じような題材のテーマとしてトークがあり、私と同じ町内会のものと二人して参加させていただきました。市長と地元の方と活発な意見交換がなされ、唐琴自治会の結束の固さに驚きました。内容的にも私共が意見を述べるのが場違いだなということであまりしゃべることができませんでした。その折にこのような討論ができる場が中庄地区にもあればなあと思ひひそかに抱いておりました。が、以外にも早くこんな機会に恵まれて本当にありがとうございます。本日はよろしく申し上げます。

本当に暑い日が続きますね。今日も暑かったですね。今倉敷はこの暑さに負けんぐらい燃えています。熱いです。その熱気の中に、まち人仕事創生法があります。この会議のメンバーに、各大臣、民間有識者の中に伊東香織市長がおられます。私共としては大変心強く誇りに思います。先般もテレビを拝見しました。あまり勉強していない私も、伊東市長がそのメンバーだという事で、今はパソコンを開いたり、どういう風に進んでおるかということに興味を持って見ております。二つ目に燃えておるのが、先ほど言いましたようにサミット。主要国首脳会議、伊勢志摩のサミットの会議に先立ち、教育の会合が開催されるということについても、非常に今倉敷は燃えております。ただ水を差すのに、倉敷は台風の中心が来ると、これまた倉敷が有名になったということでございます。また認識不足でございましたけれど、こんど3000人のお客さんが来られるということで、非常に燃えておるわけでございます。どうか伊東市長は我々の代表として、また12人のメンバーで市長が選ばれているのが、伊東市長だけなんです。どうかこの『創生』……。私は山口県なんですけれども、「うん、そうせい。」と……。(笑)。あの毛利ですね、毛利は革新、保守派の意見を「そうせい」ということで、まとめて素晴らしい人材が育ったと思います。

教えてください。倉敷の人口増加対策、人口が減る減ると言ってますけど、これだけ住むのに恵まれとるところはないと思います。倉敷の人口増加対策、雇用創生、今後の企業誘致を含めてどうのお考えをお持ちか、またもう一つは、教育相会合がなぜ倉敷に選ばれたのか、そこを教えてください。

市長

はい、人口増加対策と今のことに関連したことでよろしいですか。はい、人口増加のところは一応今から数年くらい、5年くらいは人口が増加することが見込まれていますけれども、一つには、例えば、この8月1日が真備船穂との合併10周年になるんですが、真備船穂と一緒に今、大きな橋を造っております。これが合併の時の真備船穂からの一番の要望だったんですけれども、そういうことをすることによって、実は、船穂に農機具のヤンマーさんが世界で初めてのバイオイノベーションセンター倉敷ラボというのをつくってくださることになりました。やはり何十人かの研究者の方が来られる予定でございます。そういう風にして市内のアクセスを良くすることによって、大きな事業も来ていただき易くする。あるいは玉島ハーバーアイランドにも世界で一番のプロペラ会社と、こんどJAの大きな食糧コンビナートが来てくれることになっております。そういったインフラの整備をすること、それからもう一つは、最初にも申しあげましたように、子どもの子育てしやすい暮らしやすい街というところを大きく力を入れて、それからそれをPRしていくということが重要だという風に自分では考えております。

それから、教育大臣会合がなぜ決まったかという事でございます。ほかの市の方からよく聞かれるんですが、実はさっき言うていただきましたけれども、まち・人・しごと創生会議で、席が下村文部科学大臣と斜め前になるんです、いつも。それで下村大臣が6月7日に岡山に講演に来られた時に、山田方谷さんの関係のサミットで来られて基調講演をされたときに、日本で教育大臣会合をサミットに合わせるかもしれないという事を言われたんです実は。それが7日で、その次のまち・人・しごと創生会議が12日だったもんで、そのときに下村大臣にお会いする機会があったんで、私も「本当にあれがあるんですか？あるんだったら倉敷市としては全力で誘致の手を挙げて、教育の街とか文化の街とか地域の皆さんが子どもさんを育ててくださるとかそういうことがあるんで、ぜひお願いしたい。」と言いまして、それで猛烈にPRをいたしまして、結構全校20都市くらいの競争だったんですけれどもなんとか決まったという、簡単に言うとそういう感じです。

参加者Hさん

菅生学区、生坂に住んでおりますHと申します。私は地域力についてちょっとだけお話をしたいなと思うんです。特に老人の、老人というのが高齢者というのか、おじいさんおばあさんの力、これは幼稚園の子小学校の子、ラジオ体操だ言うても大勢のものが朝早ようから来られております。最後はどんな話をしようか子どもたちのためにというボランティアもあります。幼稚園では田植えをしてやろうとか、本当に楽しそうに大勢が寄ってたかって行くという感じでございます。この地域力、老人力というのは大変大切だと思うんですが、特に若い人たちは仕事がありますので、難しいんだなというのを感じております。

市長

はいありがとうございます。Hさんに言うていただきました通りですね、地域の先輩方の力というのは地域の発展のためにも重要ですし、子どもたちの成長のためにも重要ですし、それから街の活気づくりという面でも本当に重要なことだと思っております。さっきあの、子育ての事ばかり言うてしまったんですけれども、私が今考えているのが、サミッ

トの教育大臣会合で、これ世界の教育大臣会合なのでテーマを『21世紀の教育のイノベーション』という、ちょっと難しい題名なんですけど、イノベーションとは「革新」という意味なんですけれど、それで何が21世紀の教育を革新してそれが子どもたちの教育につながるのかというのをテーマにして世界で話し合うというのを聞いています。それで今私がうちの教育委員会と考えておりますのがですね、もちろん、倉敷の美観地区とか文化の事も見てもらいたいんですけども、私が一番見てもらいたいのがですね、倉敷の、つまり日本でせっかくあるんですから、日本の教育の現場を見てもらいたい、子どもたちがどうやって勉強しているか、例えば給食をみんなできちんと配膳して、それからおわたらちゃんとみんなで掃除をしていますとか、それから各小学校区でHさん言ってくださったように、おじいちゃんおばあちゃん、おじちゃんおばちゃんですね、子どもたちと色々一緒に田植えをしたりとか花植えをしたりとか、街で朝夕立って安全を守ってくれている、そういうことが子どもたちを育むし、子どもたちの力をつけるんだってということを見てもらいたいなと思ってですね、それを文部科学省に今提案しようと思はしているんです。だから、どこでもできるような会議ではなくて、倉敷でできる会議として、倉敷のどこの学校とかね、場所も中々できるかどうかわからないんですけども、日本に来てよかったなど、日本はこういう事で成長してきたんだなというのを見てもらえようようにしたいなと思っておりますので、地域の皆さんのお力が必要でございます。

参加者Iさん

生坂のIと申します。実は今日は痴呆症の高齢者の対策について質問したいと思います。あの、日常生活の自立度を判定する基準が5つあるという事ですが、[リンク](#)は非常に自立している、それから2、簡単に説明しますと、誰かが注意している必要があると、3番目が、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時に見られ、介護を必要とするもの。それが日中にあるのか、夜間にあるのか、それで夜間にあるものにちょっと中心に質問したいんですけど。それから4、5というのがあるんですけど、4というのは常に介護を必要としていると、5は専門医療を必要とすると。その中の3の特に夜間を中心にみられる意思疎通にける者、これについて、まあ私もそうですが、老人会の方では家庭内で日頃は十分世話をしているんですけども、10時ぐらいになると出て行かれて、あるいは「私をいじめるんです。」と一軒一軒たたいて回ってという風なことが事例として見受けられます。このようなことについて市としてどのようにされているのか、私はH先生にご紹介されて初めて参りましたので分かりませんが、どのようにされているのか、そして理解度がどの程度あるのか、それから対応はどういう風にしていくのか、これは専門的なこととなりますけれども、その3点について今後の事とかちょっとお願いします。

市長

はい、ありがとうございます。福祉の事につきましてこれからの街づくりということで、当然高齢者の方の人口は増えるわけございまして、昨年の倉敷市の高齢者の方の、まあ今65歳以上が高齢者って言う区分自体がどうかと私は思っているわけございましてけれども、一応65歳以上の方が高齢者だという区分だとすると、48万人のうちですね、今12万人、つまりちょうど4分の1ですね、25%が65歳以上の方というのが、去年

倉敷市が到達したと、そういうことです。全国はもっと早くに人口の4分の1以上が65歳以上の方という事になっています。倉敷市は少しは全国より後から来たんですけど、その中で今言われた、痴呆症、認知症の方ということですね。今この4分の1の12万人の方のうちですね、要介護とか要支援の認定を受けられている方というのが、また4分の1ぐらいだいたいいらっしゃるんですよ。だからだいたい2万5～6千人ですかね、3万人弱くらい、いらっしゃるわけで、そのうちの半分くらいの方が、認知症じゃないかと言われてます。たしか1万何千人ぐらいだと思います。という風に記憶しております。

それで、今言われましたように以前よりも認知症、痴呆症ということは身近な、以前だったらどちらかという人に知られたくないという方が多かったように思いますけど、今市の方が確か去年だったかな、介護福祉計画を作るときに、市民の皆さんにアンケートを取りました時に、認知症という事を他の人に公表といたしますか、言って抵抗があるかないかということを知りましたら、以前に比べて抵抗はないと。むしろ知ってもらった方がですね、さっき知ってもらったように、こういう行動をとられることがあると知ってもらってみんなに助けてもらった方が良いという人の方が多くなったんですね。

それで、市のしております施策としては、地域の皆さんに今保健所等と協力しまして、研修をですね、認知症の方に関する研修を受けていただいて、『認知症サポーター』という方にですね、もうたしか倉敷市内の1万人を超える方に研修を受けてなっていて、今日この中にも受けてくださって、なったださっている方が既にいらっしゃると思うんですが、そういう市の中で市民の皆さんが理解を深めるというのをまずやっています。もちろん、いざお父さんお母さんが夜中にどこかに行かれたという事になったら、それはもう警察とか消防団と一緒に捜索などしておりますけれども、そういう理解をして、かつみんなも気を付けてって言うこともやっていきたいと思っておりますし、一方でお薬の面でも前よりも発達してきていると伺っておりますので、両面でやっていければと思います。

参加者Jさん

私は、粒江小学校区から三人参加させてもらっております。今日はあまり質問者が多いので、私たちの言う時間がないから困ったなと思うんですけど、一つだけ。4年前にも帯江の公民館の時に、市長さんに水の話をして、粒江は水が大変汚くて、母なる高梁川の水を貰っていない、継子扱いされているというお話をしたんですけど、それ以来4年間何の返答もありません。これの回答を早急によろしくお願いします。バシッと！返答を、やらんのなら、やらんでよろしい。

それと、もう一つしっかり聞いていただきたいのは、水代は昭和に入ってもう既に90年になる、大正時代から水代は取っとる、高梁川用水組合が水代は取っとる。去年は粒江地区だけで120万円取っとる。そのうちのこの地区は20%じゃから20数万円ぐらいの水代がかかる地域で、先ほど中庄の方は非常に優雅な話が多くて、発展しているように聞いておるんですけど、うちの方は貧困住宅、それで地価が安いから去年おとし大勢の新しい人が来たんですけど、家を建てて初めて気づいた、こんなところに行かなきゃ良かったという人が大勢おるわけです。

それで、先ほどからサミットの教育相会議のお話がありました。結構なことだと思いましたが、私新聞紙上でのデータですが、市長さん美観地区で物事をするという記事がござ

いました、これは間違いないことだと思いますが、実は粒江は犬養木童のお母さんの出生地なんです。(市長：そうなんですか！) ええ、粒江から川入に嫁に行って、それで子どもが出来た。犬養木堂いうたら、世界にも通じるような立派な方、特に中国と東南アジアにも信頼が高い人。そういう人のお母さんに当たる人、犬養木堂さんは岡山県でも知られてる人は少ないけれども、文部大臣も経験されとる、そういうお方が粒江の小学校のできる前に寺子屋があって、その寺子屋で学んでいた。そういうようなところに、ぜひ会議は美観地区のような着飾った、花に飾ったか藁人形に飾ったか何かわからんけれども、着飾ったところで飲めや歌えじゃなしに、教育の実態、こういった貧しいところもあるんですよと。それからガードマンも何もいらんと思うん。田んぼばかりじゃから。そういう風なことを踏まえてぜひ粒江小学校で開催してほしい。粒江小学校でぜひ、ぜひお願いします。まあ、今日晩寝て考えて、ぜひ実現してもらいたい。ほかにもお願いしたいことがたくさんあるんですが、次回のトークがいつあるんかその時まで、温存しておきます。

市長

ありがとうございました。なんとも返事がしにくいんですが、犬養木堂さんのお母さんの出身地が粒江だという事をよく胸に刻みこみまして。警備等の関係もありますので、文科省に、文部科学省にいろいろと相談をする中で出していくようになるかと思っておりますので、その中でどのような提案ができるのかを検討していきたいと思っております。(Jさん：分からないんだら聴きにくりゃあええ)わかりました！分からないことがあったら聴きに行きます。

参加者Kさん

地元の中庄中田に住んでいる者です。現在中川町内会の役をさせてもらってます。30～40年くらい前から、日本全国で核家族化が始まっています。私の住んでいる中田でも、65歳以上の高齢者の世帯がものすごく増えてまいりました。現在では、おじいさんおばあさんふたりだけ、老老介護をしたり、あるいはこの間もありましたけど、老人の孤独死もありましたしね。私が何を言いたいかと言いますと、今3世帯同居の人が少ないでしょ。3世帯同居になれば家族の中でも会話が増えるし、いい意味での刺激もありますので、今さかんに認知症が増えておりますけど、認知症になる人も少ないと思えます。

それと、全国で820万戸の空き家があるんですけど、それも3世帯一緒になったら、そこへ補助金を出すみたいです。まあ数年前から子ども手当とかの補助金も増えたでしょ。それに伴って出生率が若干増えたと言われておりますので、まあその補助金を出すということは、倉敷市だけでは絶対できないので、倉敷市から県、県から国の方へ、必死に言っていただいて、早くそういう3世帯同居の人に、補助金を出してくださるようにしたら全ていいように行くんじゃないかと思えます。よろしく願いいたします。

市長

はい、ありがとうございました。今、3世帯同居のところに、国策としてできればいいんじゃないかというお話をいただきました。私もそういう考え方が重要だと思っています。それが国にやってもらえるかと言うと、上げてみないと分からないので。市としても3世帯同居とか、国の方でもいろんな支援を考えるなかで、第三子がいるところには補助金を出しましょうと交付するのか、それとも子どもさんの医療費のところに、それを安くする

ために補助金を出すのか、それとも、今言われたような世帯同居のところに、補助金を出すとか、いろいろ考え方はあると思っております。私も今言っておいたような考えを、財務省の方に言ってみたことが実はあるんです。そうしましたら、当面、今は、確かおじいちゃんおばあちゃんからお孫さんの方に、贈与の時とかで有利にというのを、国がしたと思うんですけど、それをまず取り入れていくのに、今の段階ではそうなってございまして、いろんなものがあると思いますので、市の方からも今言っておいたような3世帯同居または親と同居とか、地域の皆さんと一緒にコミュニティができるようなものについて優遇をしてもらえないかということ、国の方へ要望していきたいと思っております。いい考え、ありがとうございました。

参加者Lさん

こんにちは。ちょっと徳島の方へ行ってましてね、急いで帰って与島まで早めに着いたんですけど、そこから大渋滞に巻き込まれて、遅れて申し訳ございませんでした。前半にどんな話があったのか分からないのでダブるかもわかりませんが、よろしくお願ひします。

私は、3年前に倉敷の方へ引っ越したばかりで、まだみなさん先輩からすれば青二才のレベルだと思うんですけど、それなりに勉強をして、今は倉敷のまちの素晴らしさを、味わっている最中です。私自身社命でアメリカのプリンストンへ6年ほどと、東京、大阪と、以降1年の半分位海外で仕事をしてたものでしたから、まちのステイタスという観点から言うと、倉敷のステイタスは、非常に高いレベルに既にあると思うんです。私が住んでいたプリンストンで、日本のまちを知っているかと言うと、倉敷、と言う人は複数おられました。既に15年ぐらい前の話です。岡山を知っているという人は聞いたことありません。倉敷と言うのは複数の方から話を聞きました。

そういうことでね、今伝建地区の保全維持も市が率先してやっていたというの、非常に私もありがたいなと思っているし、終の棲家を倉敷に決めたというのは非常に大正解だったと思っているわけなんですけど、ただ私、一つ気になっているのが、時間が私自由なものですから、美観地区をうろろろすることがしょっちゅうあるんですけど、一つ気になったのが、倉敷川沿いにある屋台って言うんか、いろんなアクセサリーを売っている。あれが、非常に私気になっているんです。一回ハートランド祭りのときに、大勢の人が来られました。当然観光客の方がいっぱい来られて、立ってみられるわけですね。そうすると売られてる方がね、お前ら、じゃまだ、という発言をされてたのを目にしたんです。本末転倒してるなと思った。あれは有料で、市が料金をとって、業としてさせているのか、その辺詳しいことは分かりませんが、あの辺もう少しすっきりさせたら、美観地区が素晴らしいまちになるんじゃないかなと思うんです。

2点目は、文科相の倉敷開催についてです、たまたま米国に住んでいるということで、英語の通訳ができるということで、昨年岡山でありましたESDの仕事の件で、ボランティアとして8日間務めさせていただいて、いろいろセッションの間のビジターのお世話をさせていただき、最後はプレスルームで、国内だけでなく海外のマスコミの方なんかの対応もさせていただいたんですけど、倉敷の方で今度やられるということ、レベルの高い方がたくさんいらっしゃると思うので、部局を立ち上げられたということ、新聞でお聞きしたんですが、いわゆる市民の活用を、していただければと思っておりますので、よろしくお願ひします。

市長

はい、どうもありがとうございました。大変いろんなことを。前半の部分は、利用者の方のみなさんのおもてなしというのは非常に重要だと思いますので、お互いのことを考えてやってみてほしいと思いますし、また、確か私が記憶しているところによりますと、もともとの御商売をされていた時の経緯等もございまして、別に市が有料でお貸ししているわけではないんですけど、そもそもの商売の権利というんですか、そのあたりのこともあると伺っております。ただ、もちろんしっかりした接客を多くの観光客の方にさせていただくというのが非常に重要だと思いますので。また、市の方もそういうことがあったら、お話をしていきたいと思っております。

それで2点目の市民の皆さんのご協力ですが、部屋の方で考えたりとか、文科省と相談して、ボランティアの方を募っていろいろお手伝いをさせていただいたりというのもやっていきたいと思っておりますので、またそういう時にはぜひお願いしたいと思っております。

参加者 M さん

中庄学区の安全安心を見守る有志の会の 〇〇 さんです。一つだけお願い。青パトの導入ということで、いろいろと相談をさせてもらってんですけど。個人の車を借用して……。今日も市役所へ行って駐車場を見ましたら、結構市の所有の車が遊んでて、それは言い過ぎかもしれませんが、学区に2～3台、市のお車を借用か貸与とか、そういうことを検討していただけたらと思います。お願い申し上げます。

市長

はい、検討してみますけど、ひとつ青色の趣旨からいうと、難しいとはおもいますが、検討させていただければと思いますけど。本当に皆さんが活動していただいていることに対して、感謝申し上げます。

参加者 N さん

公民館をいつも利用させてもらってます。市のモニターにもなっています。実はこの公民館に網戸がないので、倉敷市の公民館に網戸を付けていただきたいというのが皆さんの要望なんです。と言うのが、シーズンオフで窓を開けると、夜は蛾が入るし、夏の昼はハチが入るので、窓が開けれないんです。で、出来れば網戸を付けてほしい。ちなみに岡山県の公民館は全部ついてます。

もう1点。これはJRさんとも関係あるんですけど、中庄駅のエレベーターを付けていただきたい、ということですね。広場からコンコースに上がるところにエレベーターがないので、下りは皆さん、歩いてトコトコ降りてます。特に川崎病院へ来てる方も大変利用されているので、ぜひ下りのエレベーター、もしくはエスカレーターをつけていただきたいという2点です。

市長

ありがとうございます。中庄駅のエレベーターを付ける工事を今年度中に。前々から大変多くの皆さんにご要望をいただいております。川大病院に行かれる方の中にも、ケガ

人もおられると思いますので、市としてJRに相談いたしまして、南北両方共につけるということで、確か今年度中にはできるように手筈をしていたはずですが、もう少しお待ちいただければと思います。

網戸でございますね。いっぺんにできるかはなかなか難しいと思いますが、確かに蜂が入って来たら困りますよね。いろいろ調べてみます。どうもありがとうございました。

参加者0さん

私は粒江地域に住んでおります。粒江地区の方に産業廃棄物処理場を計画されておりますよね。すでに、同じ粒江地区にも20数年前から、黒石地区に廃却炉、焼却炉を付帯した産業廃棄物処理場があるんです。それから2キロぐらい東の所に、今度粒江地区に産業廃棄物処理場をまた設けるという計画があるんです。すでに事業者から申請許可の書類が来てると思う。(1)もう最終段階じゃないかと思いますね。粒江地区の直線距離で言いますと、700m東ぐらいにも、粒江小学校、粒江幼稚園、普通の住居、私立の保育園もあります。そういうところへ何故産業廃棄物処理場を作るのか理解に苦しみます。その産業廃棄物処理場の規模が、黒石の約10倍位(2)、大きなものを作ろうとしている。非常に不愉快に感じております。今まできれいなことばかりを言われておりましたが、粒江地区はこういう汚いところになるんだと。おそらく水島臨海地区東側の松江とか、水島の人に失礼とは思いますが、松江あるいは高島地区、そういう所と同等な所になるんじゃないかと。この際市長が、昔の偉人、大岡越前の裁断をして、断念をお願いしたい。

1「申請許可の書類が来ている」の箇所について

平成27年8月4日現在で事業者からの許可申請書は提出されておらず、市の担当部署と事前の協議を行っているところです。

2「黒石の約10倍ぐらい」の箇所について

事業者との協議のなかで埋立容量については、黒石地区と同程度の計画値が市に対して示されています。

市長

はい、民間の方が計画されているということは伺ってるんですけど、詳しい許認可の内容までは私も見ておりませんので、話をすることはできないと思うんですが、一般的に民間の事業者の方の申請が出てきたときには、非常に厳しい基準で審査をするということになります。市側からもチェックをしますし、地元の方に対する説明もしてもらおうということも必要になると思っております。手続きのことを間違っていたらいけないので、今詳しく申し上げるのもどうかと思うんですが。市としましては、しっかりとした手続きで、事業者に対応していくつもりは、持っておりますので。その点しか今申し上げられません。

市長

色々勉強させていただきました。ありがとうございました。15分オーバーして申し訳ありません。では本日のふれあいトークを終了させていただきます。ありがとうございました。